

2020年7月15日
株式会社日立製作所

ウェブサイト「Hitachi Origin Story」を開設

社会イノベーションによって社会価値の創出に取り組んだ日立 110 年を未来へつなぐ



「Hitachi Origin Story」画面イメージ

株式会社日立製作所(執行役社長兼 CEO:東原 敏昭/以下、日立)は、本日、日立の 110 年のあゆみを紹介するウェブサイト「Hitachi Origin Story(日立オリジンストーリー)」を開設しました。本サイトでは、1910 年の創業以来 110 年にわたり、創業者である小平浪平の思いである「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」を企業理念として受け継ぎながら、日立が世界中の人々と協創し、それぞれの時代の社会課題を解決するために取り組んできたあゆみをわかりやすく紹介します。

日立は現在、「2021 中期経営計画」において、社会イノベーション事業によってお客様の社会価値、環境価値、経済価値を向上させることを目標としています。世界中の従業員ひとりひとりが、この「Hitachi Origin Story」を通じて、過去に学び、未来を考え、社会への貢献を続けていきます。

■Hitachi Origin Story

日本語サイト : <https://www.hitachi.co.jp/about/origin/>

英語サイト : <https://www.hitachi.com/corporate/origin/>

日立は、1910年に茨城県日立市で5馬力誘導電動機(モーター)の製造によって創業して以来、創業110周年にあたる2020年に至るまで、社会課題の解決、即ち社会価値の創出・提供を続けてきました。また、創業者である小平浪平の「優れた自主技術・製品の開発を通じて社会に貢献する」という志は日立の企業理念となり、その実現に向けて先人たちが苦労を積み重ねる中で形づくられた日立創業の精神「和」「誠」「開拓者精神」*1を受け継いできました。

日立では、こうした企業理念、創業の精神などの日立の原点やこれまでのあゆみを、日立グループの従業員だけでなく、お客さまやパートナーなど世界中に広がるステークホルダーの皆さまに紹介するとともに、未来の社会について考える機会を創出する新たな取り組みを推進しています。その一つとして、歴史遺産の展示施設などからなる「日立オリジンパーク(仮称)」の開設(2021年度上半期予定)に向けた準備を進めています*2。

そして、もう一つの取り組みとして、デジタルコンテンツを拡充・強化し、日立のこれまでのあゆみを紹介するウェブサイト「Hitachi Origin Story」を開設しました。日立の110年の歴史の中から選んだ企業理念や創業の精神を体現した出来事を、映像や電子ブック形式の読み物コンテンツ(日本語および英語)で紹介します。また、ソーシャルメディアでの発信も行うことで、さまざまなステークホルダーの皆さまにタイムリーにお届けするとともに、世界中の従業員が企業理念や創業の精神を振り返り、自ら社会価値の提供を考える契機とします。

日立の創立記念日である7月16日を前に、本日、第1弾として、創業者の小平浪平がどのような時代・社会に育ち、どのような志をもって日立を創業しようとしたのかを描いた「創業者・小平浪平の志」、創業から株式会社としての独立までを描いた「日立製作所の誕生」、現代社会で欠かすことのできないコンピューター事業への取り組みを描いた「社会を支えるコンピューター開発」の、3つのコンテンツを公開しました。今後、2021年度にかけて計8つのコンテンツを順次公開していきます。

日立は現在、企業理念や創業の精神を受け継ぎながら、世界中で社会イノベーション事業を通じてお客さまの社会・環境・経済価値を高め、持続可能な社会の実現に貢献することをめざしています。海外事業の拡大によってお客さまやパートナー、従業員などステークホルダーが多様化している中「Hitachi Origin Story」や「日立オリジンパーク」を通じて日立の原点に触れてもらいながら、日立はこれからも、世界中のパートナーの皆さまとともに、社会課題の解決と人々の生活の質の向上に貢献していきます。

*1 日立創業の精神

「和」:他人の意見を尊重しつつ、偏らないオープンな議論し、一旦決断に至れば、共通の目標に向かって一致協力すること。

「誠」:他者に責任転嫁せず、常に当事者意識を持って誠実にことに当たること。社会から信頼を勝ち得るための基本姿勢。

「開拓者精神」:未知の領域に、独創的に取り組もうとすること。常に専門分野で先駆者でありたいと願い、能力を超えるような高いレベルの目標に挑戦する意欲のこと。

*2 2019年7月3日ニュースリリース「茨城県日立市に「日立オリジンパーク」(仮称)を2021年に開設」

<https://www.hitachi.co.jp/New/cnews/month/2019/07/0703.html>

■「Hitachi Origin Story」の特徴とコンテンツ一覧(予定を含む)

- ・歴史の紹介にとどまらず、その時々時代の背景において、人びとの暮らしを豊かにするため、当時の開発者や担当者たちが志した想いを紹介。
- ・創業由来の場所や日立のこれまでのあゆみに関連した場所をウェブサイト上で訪問できる「Trail Map」を導入。
- ・現在の小平記念館(2021年度上半期中に閉館予定)をデジタルで再現。動画にして永久保存。

No.	テーマ	概要
1	<u>創業者・小平浪平の志</u>	外国製品が主流の時代に、「国産技術で社会を豊かにしたい」という創業者・小平浪平の志を紹介
2	<u>日立製作所の誕生</u>	創業間もない日立が、幾多の困難を乗り越え、株式会社として独立するまでのストーリーを紹介
3	事業基盤の強化	社会への貢献のため、関東大震災における被災地の復興支援を優先したエピソードを紹介
4	<u>社会を支えるコンピューター開発</u>	単なる計算機ではなく、社会に役立つコンピューターを志向した開発者の思いを紹介
5	社会インフラの充実へ	人びとの生活を支え、社会に貢献するためのインフラ事業への取り組みを紹介
6	三種の神器から 3C の時代へ	高度経済成長期、暮らしを豊かにするために取り組んだ家庭用電化製品事業にまつわるストーリーを紹介
7	鉄道と制御技術	車両製造から運行管理まで、幅広く鉄道システムづくりに取り組んできたあゆみを紹介
8	経営危機からの復活	社会イノベーション事業への注力により、経営危機から V 字回復を果たす日立の挑戦を紹介

■日立製作所について

日立は、IT(Information Technology)、OT(Operational Technology)およびプロダクトを組み合わせた社会イノベーション事業に注力しています。2019年度の連結売上収益は8兆7,672億円、2020年3月末時点の連結従業員数は約301,000人でした。日立は、モビリティ、ライフ、インダストリー、エネルギー、ITの5分野でLumadaを活用したデジタルソリューションを提供することにより、お客さまの社会価値、環境価値、経済価値の3つの価値向上に貢献します。詳しくは、日立のウェブサイト(<https://www.hitachi.co.jp/>)をご覧ください。

以上

このニュースリリース記載の情報(製品価格、製品仕様、サービスの内容、発売日、お問い合わせ先、URL 等)は、発表日現在の情報です。予告なしに変更され、検索日と情報が異なる可能性もありますので、あらかじめご了承ください。
